

がん治療における機能性食品の意義

上山 泰男

関西医科大学 名誉教授

わが国における死亡原因の第一位はがんである。再発がん、難治性のがん患者、化学療法や緩和治療の治療歴のある患者の6割は西洋医学の治療を受けながら、同時に補完代替医療（CAM）を取り入れており、その内容はほとんどがいわゆる健康食品である。がん患者でCAMには1）外科切除などがん治療後の再発予防、2）制癌剤の副作用コントロール、3）再発進行がんの療養、などにおいて西洋医学との役割分担があると考えられる。1）疫学的研究、臨床データの解析の結果は発がんの原因の95%は生活習慣であることを示しているので、多くのCAMの療養はがんの再発予防の具体的手段となりうる。がんに対するいわゆる免疫能を上げ得るCAM、たとえば、末梢血より得た免疫担当細胞の活性をあげるCAMのデータはあるが、この上昇が再発を遅らせ、予後を改善するかは未知である。2）制癌剤の副作用対策にがん患者からのアンケート調査でCAMが有用であったとする研究データがある。3）再発進行がん癌患者がなんらかのCAMを求めるのは当然である。科学的根拠に基づいた制癌剤による延命治療の適応外の患者には西洋医学を駆使した治療に加え、CAMの療養手段の提供が必要である。WHOのしめす緩和ケア、苦痛の予防と軽減を図り、生活の質の向上をさせるためのアプローチ、としてのCAMは欠かせない。このシンポジウムではいわゆる健康食品・機能性食品のひとつであるAHCCの臨床データ、利用経験をもとに、上記1),2),3)について考察したい。